

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス ラウレアiwakura		
○保護者評価実施期間	R7年 4月 1日		R8年 3月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	R7年 4月 1日		R8年 3月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりの特性を理解した支援を提供している点で、高い評価をいただくことができております。 モニタリングや日々の送迎時の申し送りにて保護者様からのニーズを聞き取り、計画や支援に反映することが出来ている点も評価をいただいております。	児童発達支援管理責任者がモニタリングを行った後、朝礼や支援会議の場で職員全体に結果報告をし、新しい計画の共有や支援方法についての話し合いを行っております。 帰り送迎時の申し送りでは保護者様との貴重なお話の場であるため、その日の様子をより詳しくお伝えできるよう、日頃よりメモの活用や職員間の情報共有を徹底しております。	今後も、お子様一人ひとりの特性を理解したうえで、より専門性の高い支援を提供できるよう、職員が研修を受講したり、自主的に学びの場を増やししながら、知識を深めてまいります。
2	お子様自身が事業所への通所を楽しみにしてくれている点で評価をいただいております。 特にイベント内容や活動内容をSNS投稿によって保護者様に共有していることで高い評価をいただいております。	イベント内容は、お子様に「楽しそう!」と思ってもらえるようなものや、保護者様からの満足度が高いと予想されるものなど様々な内容を職員全体で話し合い、チームで考案しております。 また、大型の季節行事ではお子様一人ひとりのお写真を撮影して保護者様へ共有し、SNS以外にもイベント中の様子が伝わりやすいよう工夫しております。	今後も、イベント内容の質を落とすことなく、さらに魅力的な新しい内容を取り入れてまいります。 施設として初めての活動にも積極的に挑戦してまいります。
3	日々の朝礼や支援会議、モニタリング結果の共有などの時間を毎日設けていることで職員間の情報交換、お子様の支援についての共有が出来ている点が強みです。 PDCAサイクルに沿って、フィードバックや計画の見直しにも繋げ、満足度の高い支援を提供することができております。	終礼もしくは朝礼にて、必ずお子様の情報を共有し、支援に繋げています。また、その日公休の職員にも共有漏れがないよう、2日間に分けて確認を行っております。 日頃からお子様の小さな変化を共有したり、職員同士が話をしやすい環境が作られております。	引き続き、職員間のコミュニケーションや情報共有を大切にし、施設全体で支援の質を向上できるよう努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	現在は、学校や保育園など連携が取れている部分もありますが、地域の関係機関や、地域住民との交流の機会が十分に設けられていない点が弱みであり、改善が必要です。	流行による感染症拡大防止などの観点から、事業所として地域住民との交流が行えておりませんでした。今後は前向きに検討してまいります。	今後は、感染防止対策を徹底しながら、地域住民との交流の場を設けることが出来るよう、職員間で検討してまいります。
2	現在、保護者様に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や、保護者様も参加できる研修や情報共有の機会を提供することができていない点が弱みであり、改善が必要です。	流行による感染症拡大防止などの観点から、事業所として保護者様同士の交流の場を設けておりませんでした。今後は「父母の会」の開催などを前向きに検討してまいります。	今後は、感染防止対策を徹底しながら、保護者様同士の交流の場を設けることが出来るよう、職員間で検討してまいります。
3	現在、公園へ出かけた際などの、地域のお子様との関わりはありますが、地域の児童クラブや、地域の他のお子様との交流する機会を提供することができていない点が弱みであり、改善が必要です。	流行による感染症拡大防止などの観点から、事業所として地域のお子様との交流を行えておりませんでした。今後は前向きに検討してまいります。	今後は、感染防止対策を徹底しながら、地域のお子様との交流の場を設けることが出来るよう、職員間で検討してまいります。